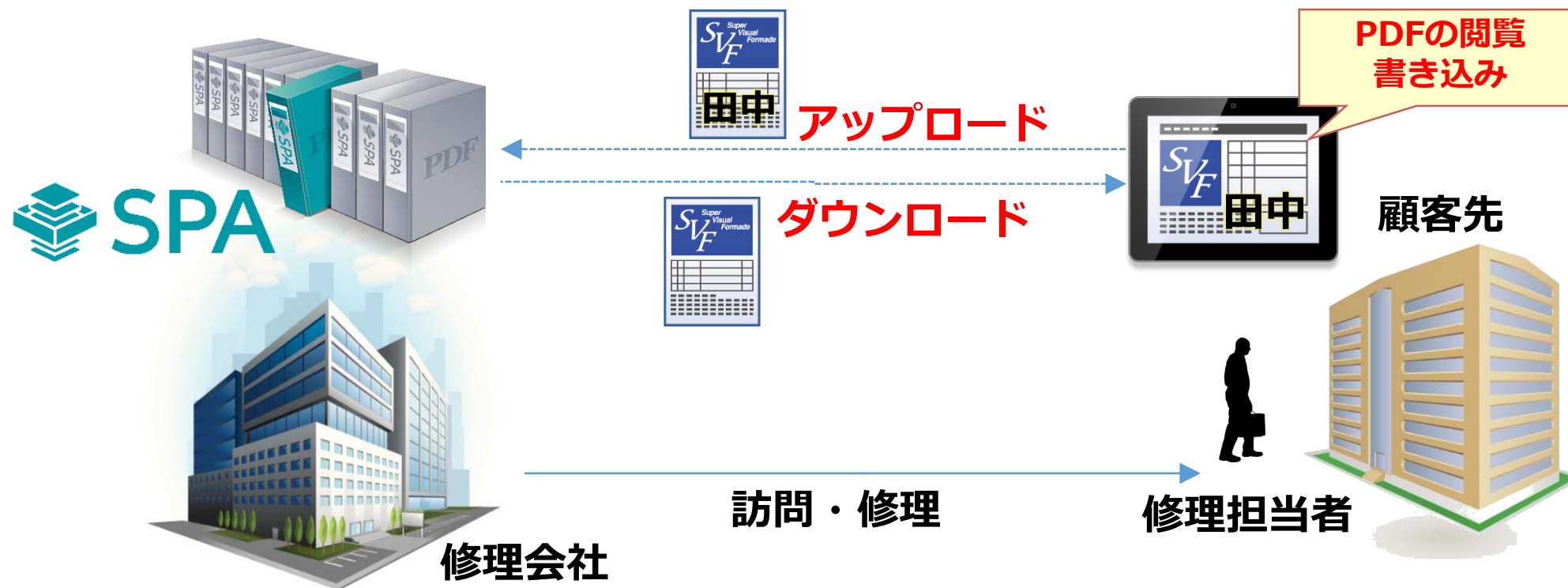


課題

- 多くの製品図面出力を行う必要があり、業務効率が悪い。
- 製造品質確認者による品質確認作業時に大量の図面を携帯する必要があり業務効率が悪い。
- 製品図面は非常に重要な機密文書である為、紙運用での紛失・流出が心配。
- 原本を保管する必要がある為、紙保管による保管場所の費用が発生している。

効果

- 電子化による紙伝票と保管費用と出力作業の削減。
- タブレットから図面を直接参照や検索機能による業務効率化。
- 印刷不要とSPAへの自動アップロードによる人員移動工数の削減。

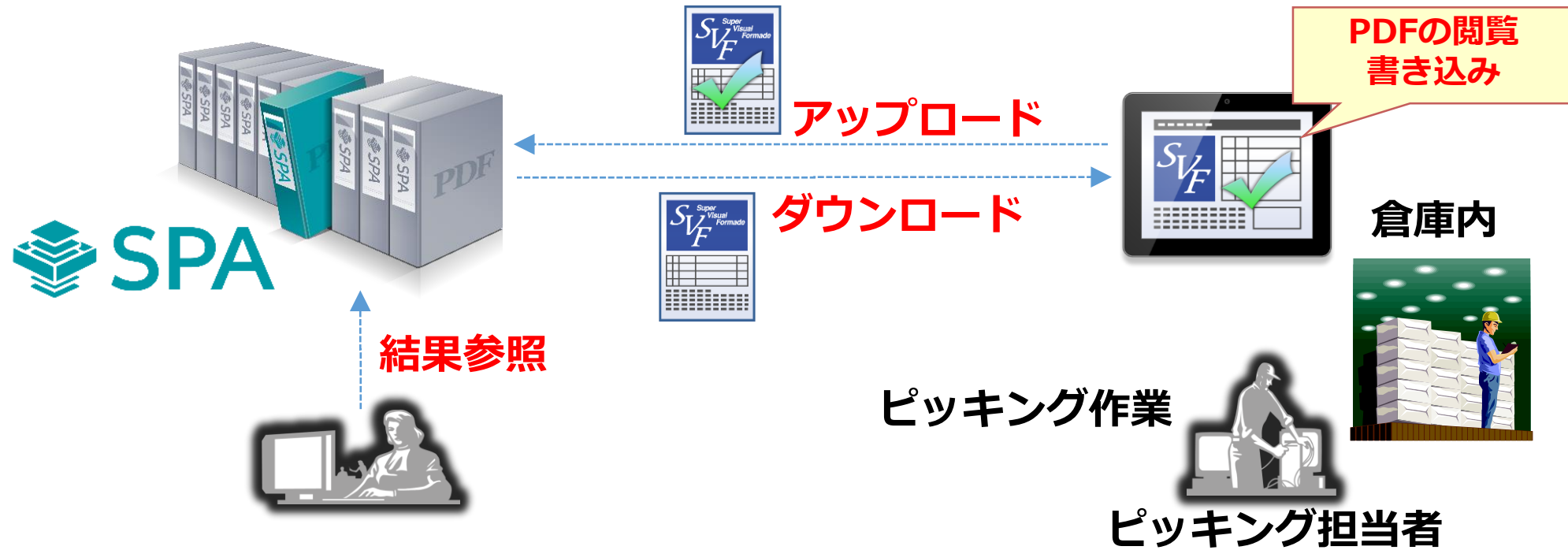


課題

- 修理担当者が顧客訪問前に作業用の多くの紙伝票出力を行う必要があり、業務効率が悪い。
- 手書きで記載した内容をシステムに反映させる必要がある為、作業終了後もサインした伝票を会社に持ち帰る手間が発生している。
- 原本を保管する必要がある為、紙保管による保管場所の費用が発生している。

効果

- 電子化による紙伝票と保管費用の削減と出力作業の効率化。
- タブレットから修理伝票を直接参照、入力による業務効率化。
- 印刷不要とSPAへの自動アップロードによる人員移動工数の削減。

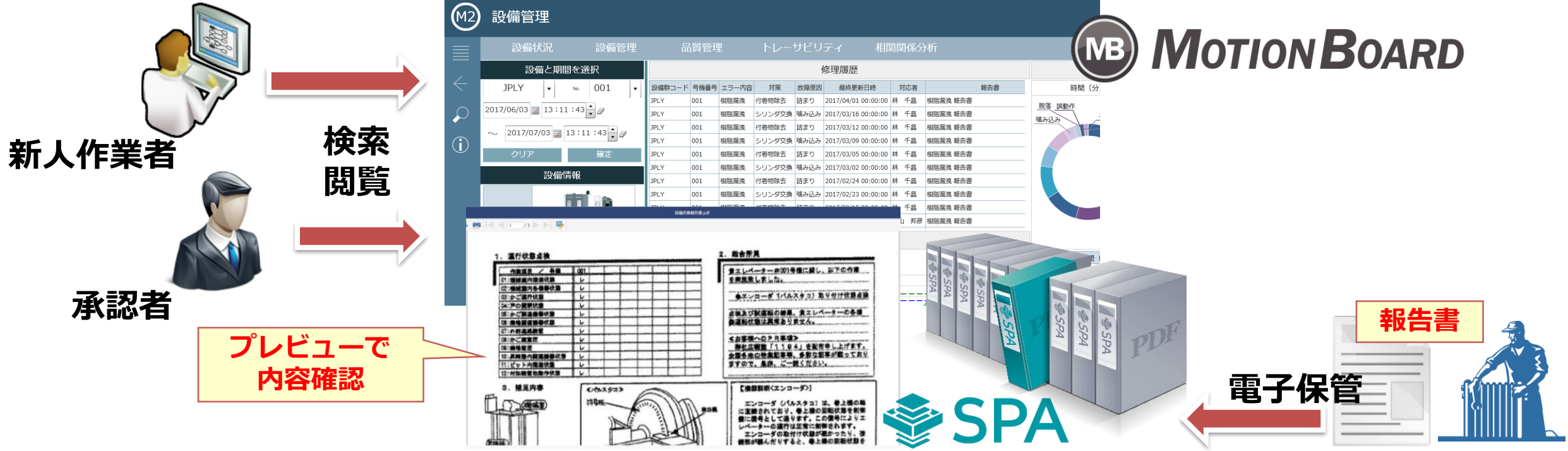


課題

- 紙出力したピッキングリストを担当者ごとに手で仕分けを行う仕分工数がかかっている。
- ピッキングリストは事務所で出力を行っており、事務所から広い倉庫への移動やピッキングリストを事務所に持ち帰る移動など、ピッキング開始と終了の度に広い倉庫を移動しており、業務効率が悪い。

効果

- 担当者ごとに必要なピッキングリストの自動仕分けによる、仕分け工数の削減。
- タブレットでのピッキングリスト直接参照とチェックや、SPA への自動アップロードによる事務所⇔倉庫内の人員移動工数の削減と業務効率化。

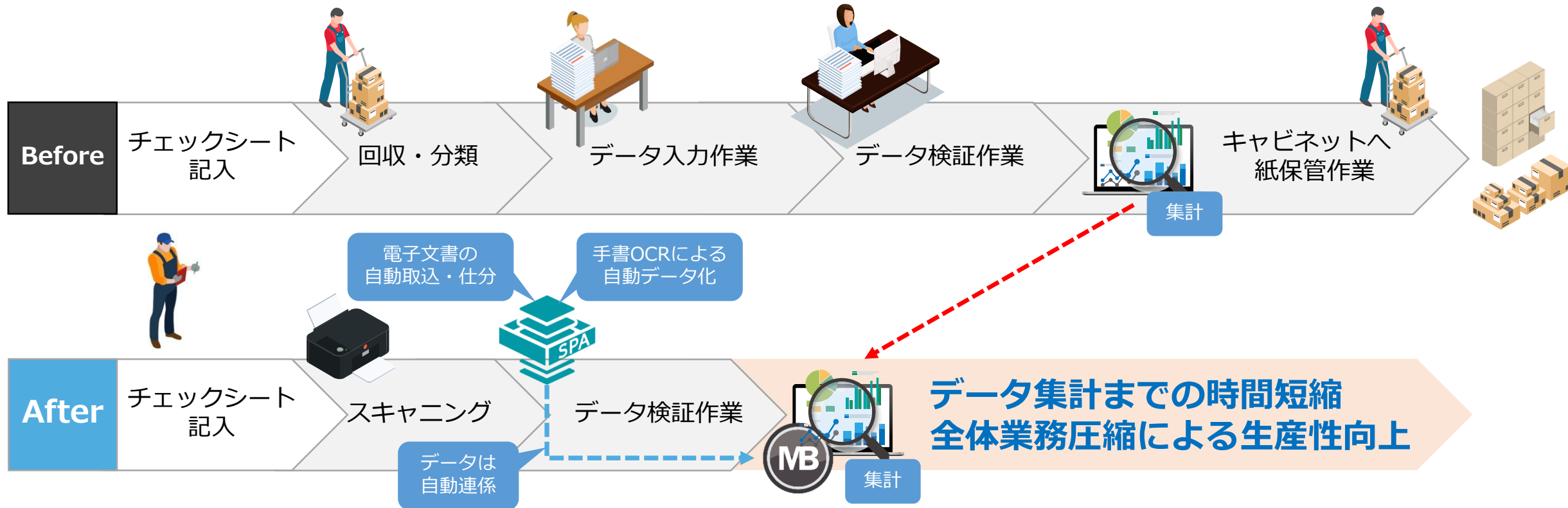


課題

- 設備メンテナンス報告書を紙で保管していた為、紙保管コストが発生していた。
- メンテナンス報告書に記載された技術情報が、全社共有ができていない状況であった。
- 紙運用による承認作業の遅延や紛失、情報漏洩リスクがあった。

効果

- 設備メンテナンスの報告書を電子化することによる紙保管コストの削減を実現。
- 設備管理ボードの修理履歴からメンテナンスに関する技術情報が全社で閲覧可能になったことにより、過去情報活用によるメンテナンス作業効率の改善と、全社での技術共有と継承にも貢献。
- 電子化により承認作業の軽減とセキュリティの強化を実現。

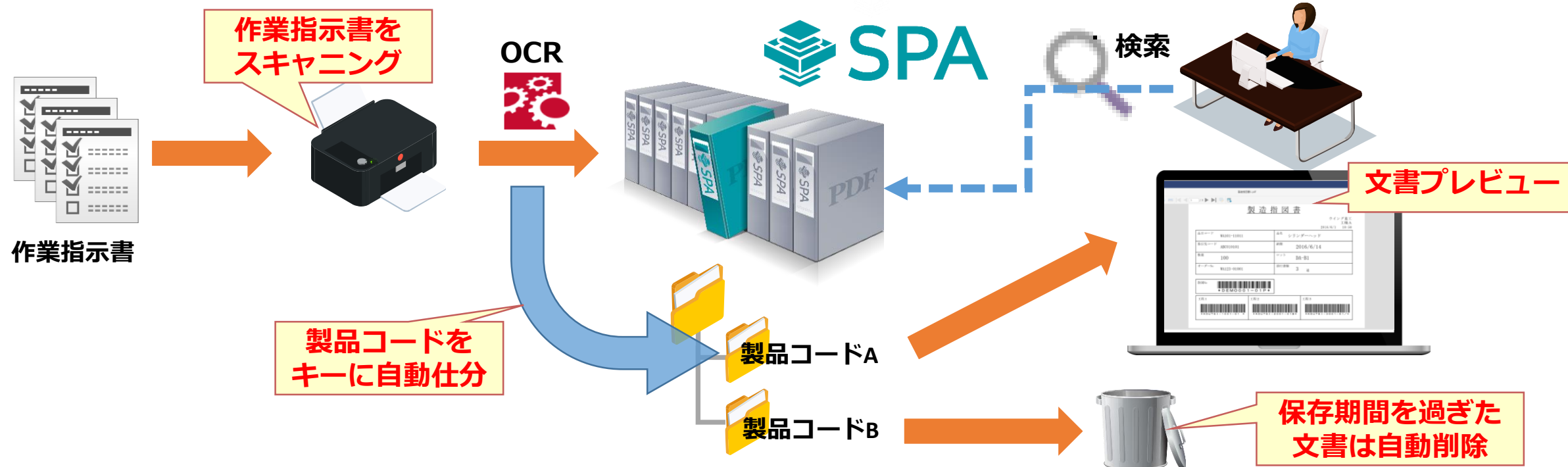


課題

- 紙の不適合項目チェックシートに手書きで記載していた為、チェック作業終了後に再度パンチャードでのデータ入力の作業工数が発生していた。
- 品質管理の証跡としてチェックシートを紙保管していることが、情報漏洩や紛失のリスクを含んでいた。

効果

- OCRでチェックシートの手書き文字を自動でデータ化。データ入力の作業工数を大幅に削減した。
- MotionBoardとのデータ自動連係により集計の見える化までのリードタイム大幅削減を実現した。
- 業務自動化により業務コストの削減と生産性向上を実現した。
- チェックシートの電子保管により証跡記録のセキュアな保管と高度な検索性を実現した。



課題

- 作業の進捗に応じて実績が記録された作業指示書は一定期間保管する必要があり、書類が山積みとなっていた。
- 製品コードをもとに手作業でバインダーに保管するため、文書仕分の工数がかかっていた。
- 後日確認が必要な時には、キャビネットや書庫まで探しに行くため、時間が多くかかっていた。

効果

- 作業指示書の電子化と紙の削除により、書類の保管コストと紙文書による情報漏洩リスクの削減になった。
- 保管期間を過ぎた文書は自動で削除される為、不要な文書のない最適化された文書維持管理を実現。
- 製品コードをOCRでデータ化。データ化された製品コードで自動仕分けすることで仕分工数を大幅に削減。
- 指示書の検索と確認が各端末で行えるため、書類を取りに行く時間が不要になった。



複合機で
手書きの日報を
スキャン

SPAが文書情報を
OCRで読み取り
自動仕分け

自席のPCから
日報を参照

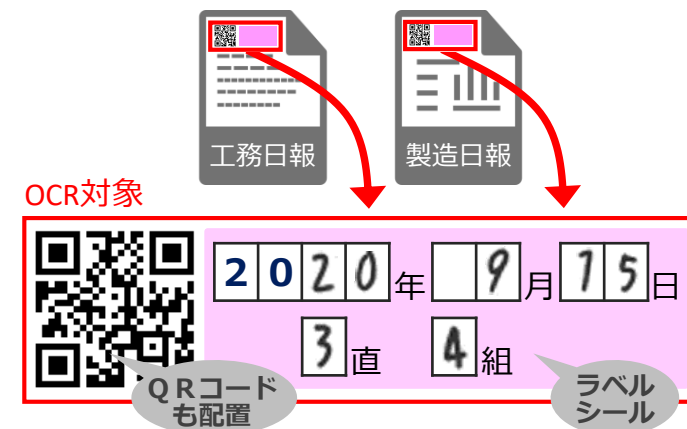
共通化の工夫

日報のレイアウトが
組織毎に異なるため
OCRの設定が煩雑



レイアウトは
バラバラだけど
何とかしたい...

紙の原本に同じラベルシールを
貼る事で、帳票レイアウトを
変更せずにOCRの設定を共通化



死蔵していた日報を電子化しナレッジ化

課題

- 大量の作業日報が毎日発生し、紙の保管に関わる作業コストや保管コストが発生していた。
- 日報のファイリング後は保管場所では参照できず結果として死蔵されていた。
- 記載される業務改善案や失敗例の情報が埋もれてしまい、ナレッジとして活用できていなかった。

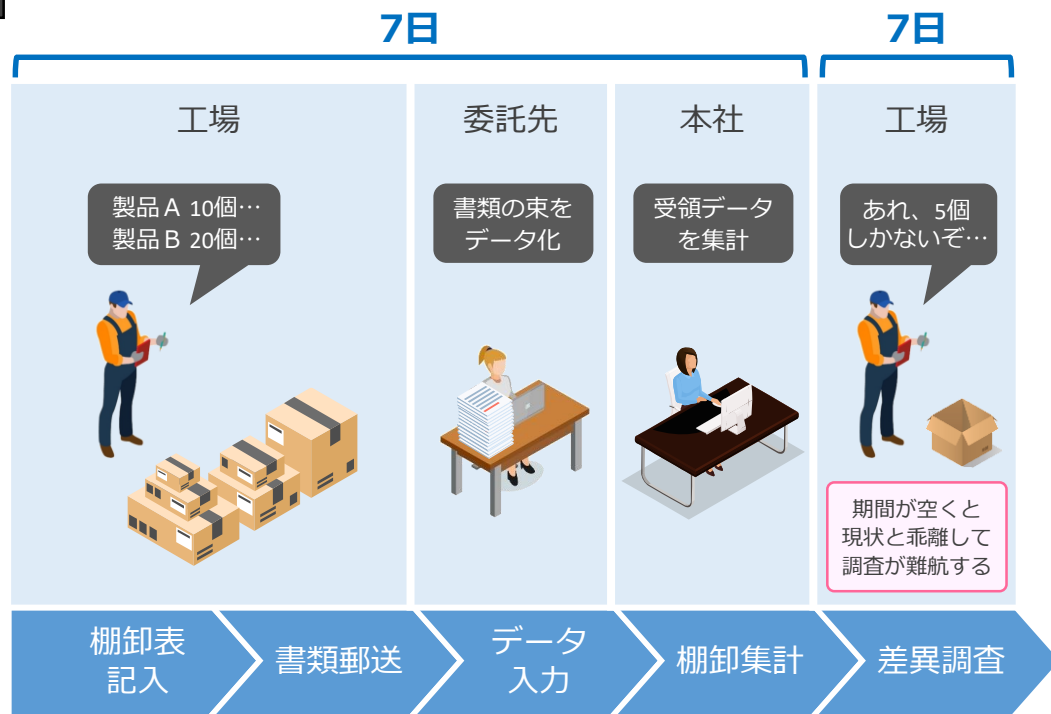
効果

- 作業日報をスキャンすると所属組織毎に自動格納されるため、保管の作業効率が大幅に上がった。
- 日報は電子化されすぐに公開されるので、どこでもタイムリーに閲覧できるようになった。
- 他拠点の活動内容や業務改善案の共有が進み改善の実行力が高まった。

OCRを使った棚卸業務の効率化

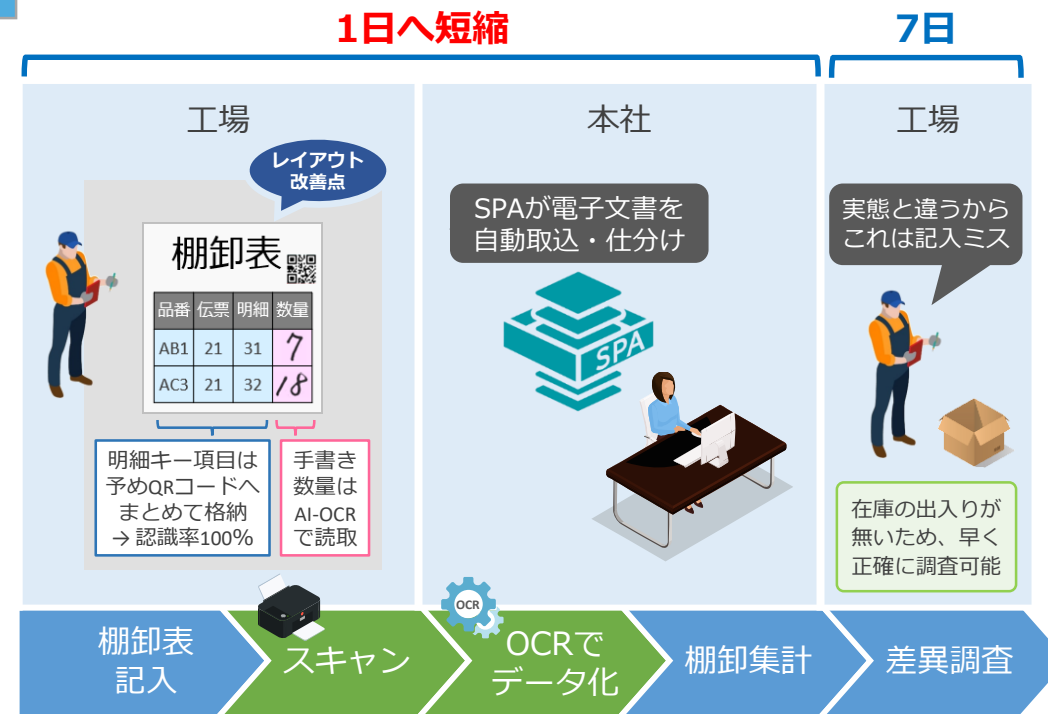
Before

棚卸業務が決算報告の遅延リスクに・・・



After

遅延リスクの排除と差異報告の正確性が向上



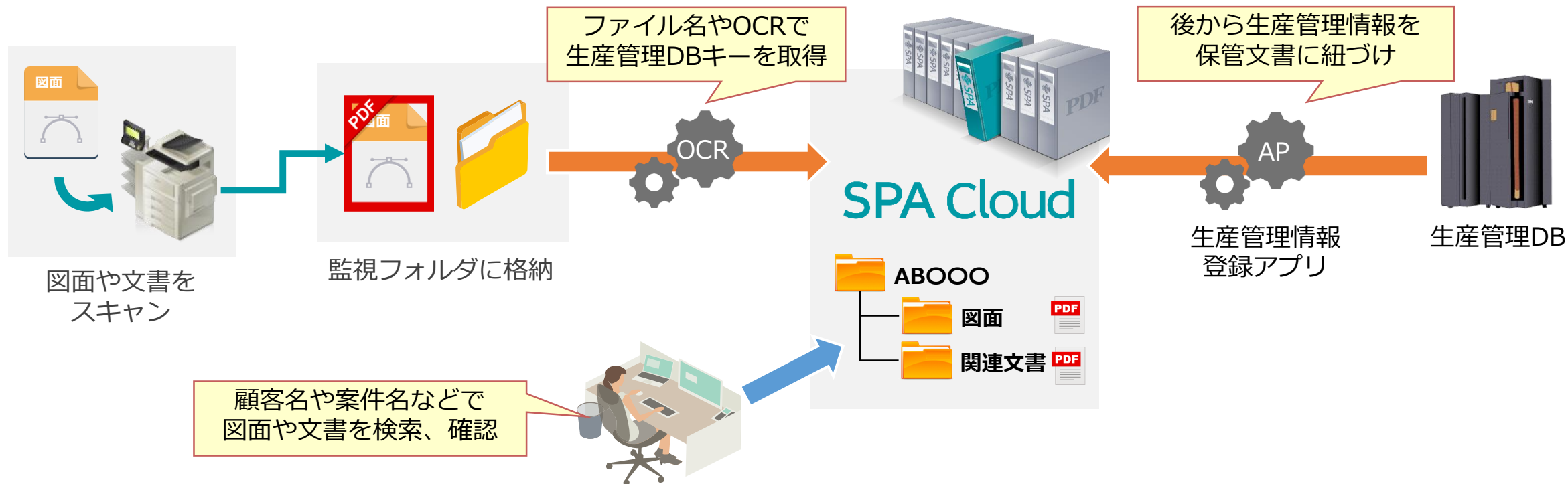
課題

- 棚卸表（1万ページ）のデータ化を外部委託しているため、データ化や集計、差異調査にそれぞれ7日掛かり、棚卸業務が決算報告の遅延リスクになっている。

効果

- 棚卸表のデータ化/集計が効率化（7日→1日）され、決算報告の遅延リスクを排除できた。
- 担当者が期間を空けずに記入内容の確認、是正を行えるため、差異報告の正確性が向上した。

図面と関連文書の保管



課題

- ・スクラッチで作成していた文書保管システムが老朽化。
- ・スクラッチの為、文書保管システムのノウハウが後世に引き継げないリスクがある。
- ・文書保管システムのフォルダ構成やアクセス権限などのメンテナンスが煩雑、サーバーの容量が肥大化。

効果

- ・図面や関連文書を複合機で電子化してSPAに保管。同時に生産管理DBから顧客名や案件名、物件情報などの生産管理情報を取得してSPAに保管した文書に付与することにより、図面や関連文書の検索性を向上。
- ・文書管理にパッケージのSPAを用いることでシステムの簡素化とメンテナンス性を向上。

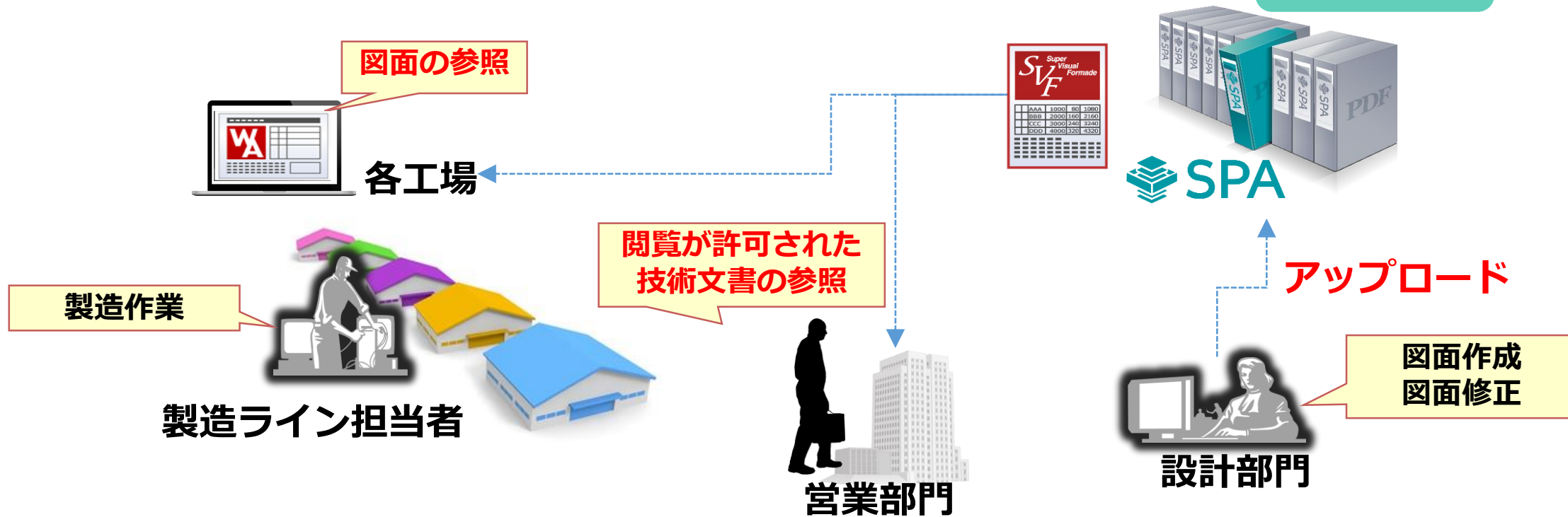


課題

- 社内利用しているSalesforce上のレコードと保管している紙文書との紐づけがなく、管理が煩雑だった。
- 単票ではなく明細データの為、膨大なデータ登録を人が行うには限界であった。
- 毎月発生する各取引先80社分、計800種類の文書の保管コストが発生していた。

効果

- 取引先毎に異なる帳票レイアウトをSPA Cloudで正確に識別できることで、選別の人的コスト削減だけでなく、作業間違いのリスクやチェック工数も低減することができた。
- OCRデータをSalesforceの明細オブジェクトにダイレクトに連携できるため、Salesforceで管理が一元化できた。
- SPA Cloudに保管済みの文書をSalesforceからダイレクトに閲覧できるので文書を探す作業が大幅削減した。

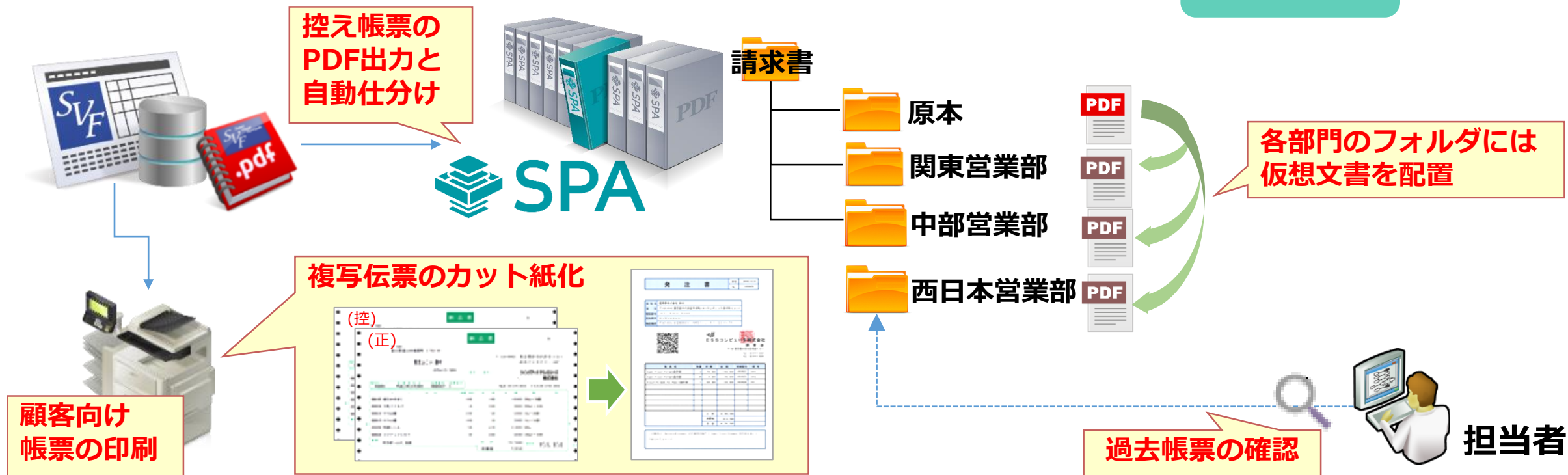


課題

- 図面データのページ数が多く、変更時の差し替えがファイルサイズが大きく困難。
- ページ数が多くても、プレビューの速度には影響を与えたくない。
- 海外からの利用があるためUIの海外対応とマルチブラウザが必要。かつ、セキュリティコントロールを行いたい。
- IBM SoftLayerを使用し、インターネットのネットワークでユーザ公開を行いたい。

効果

- CADを購入せずに、グローバル共通の仕様で直感的に必要な文書を探せる仕組みを実現。
- 厳格で細やかなアクセスコントロールにより、図面という機密データを安全に全拠点へ公開可能。
- 電子化により、最新情報配信も容易に行うことが可能。
- 技術文書の公開可能なページのみ仮想PDFとして営業部門に公開し、顧客問合せ対応の効率化を実現。

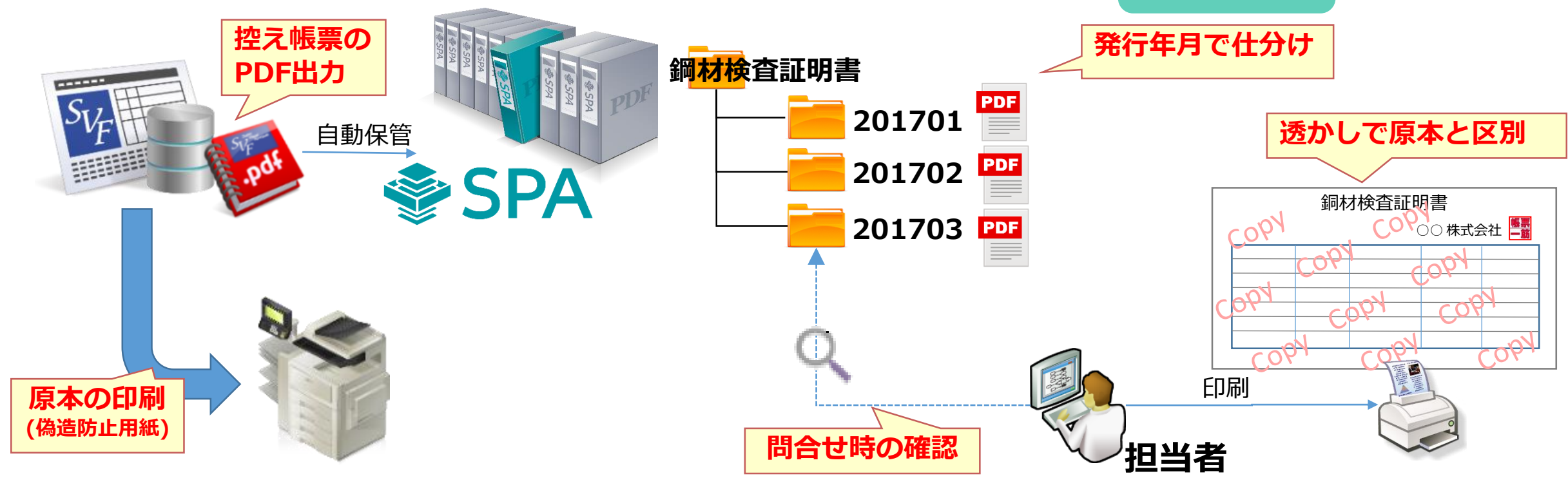


課題

- 伝票類は連帳複写用紙で印刷しており、スプロケットホールのカットや仕分けに50時間/月かかっていた。
- 複写の控えは各支店で保管していたため、過去帳票の全社共有ができていなかった。
- 大量の帳票を倉庫で保管していたため、印刷費や倉庫代などのコストがかかっていた。

効果

- 印刷を複写からカット紙にすることによりドットプリンタ撤廃と印刷コストを削減。
- 各拠点の担当者が自端末より各帳票を検索・閲覧が可能となり、帳票資産活用による業務効率化を実現。
- 原本はそのままに、各部門に必要な文書のみを仮想文書として切り出しが可能となったことにより、原本のセキュアな保存と帳票活用両方の観点で最適な文書配置を行うことが可能となった。
- 電子棚への帳票仕分けや削除などの文書管理サイクルを自動化することで文書管理工数を削減。



課題

- ミルシートの原本を各工場印刷し保管していたため、各営業拠点の担当者が顧客問合せを受けてから各工場への確認に時間と手間がかかっていた。
- 印刷物は原本とコピーで区別したいが、用紙の違いだけでは分かり難く原本紛失のリスクがあった。

効果

- 22万ファイルの膨大な帳票を確実に保管し、必要な時はすぐに検索&利用が可能となり、問合せ時間短縮による業務効率化と顧客満足度の向上を実現。
- SPAから再出力した帳票は透かして原本と区別が可能となり、複写印刷のセキュリティを向上。
- 偽造や改竄防止のために、部門ごとに操作権限の振り分けを行い、厳格なアクセスコントロールを実現。